

今号の読みどころ

議員団レポート…(日立市議会、北茨城市議会、ひたちなか市議会、尾張旭市議会、さいたま市議会) P 2~4
幹事長の主張/東海村議会議員選挙 当選御礼/浅野さとし・矢田わか子ご紹介
大島衆議院議員・国政レポート …参院選全国比例候補「矢田わか子」さんの必勝を

P 4

P 2~4

大島衆議院議員・国政レポート

日頃のご活躍に敬意を表します。今日まで、県議会議員時代も含めると29年間にわたり、日立グループ議員団の皆さんや働く仲間の皆さん、市民の皆さんのご支援をいただきました。心から感謝を申し上げます。さて、長らくお力添えをいただいていたまいりましたが、健康問題等から、次期総選挙には、後継者として33歳の若き「浅野さとし」さんに立候補していただくことになりました。皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

29年間の振り返り

これまでを振り返りますと、初当選以来、政治改革や政権交代をめざしての民主党結成、そして2009年には、政権交代を実現させていただき、「人を大切にする政治」を目標に行動を開始しました。しかし、その後、2012年に党分裂、その後の総選挙で大惨敗、その結果、残念ながら自民党安倍政権の誕生となり、小泉政権のめざした道、すなわち、アメリカ主導の「規制緩和と政策」による「新自由主義」の道、「競争格差社会」へ突き進むこととなりました。そして、昨年は、憲法違反の「安全保障関連法」が成立し、安倍政権は、戦後70年間守ってきた「平和主義」を踏みじり、日本国は「他国において戦争のできる国」「他国の戦争を支援できる国」となっていました。

安倍政権の暴走を許さない

現在も、安倍総理は主権者である国民に対する説明責任を放棄し、独りよがりの暴走を続けています。また、安倍総理

は、「景気回復、この道しかない」の旗を掲げて、日銀主導の金融緩和で「円安・株高」を演出しましたが、国民と地域経済は置き去りにされたままです。また、「給与を上げよ」といいながら生涯派遣労働への道を開く「派遣労働改悪法案」を強行採決し、さらに「残業代ゼロ法案」「正社員の金銭解雇法案」も準備中です。また、「国民の命と幸せな暮らしを守る為」と称して憲法違反の「安全保障関連法」を強行採決しました。これ以上欺瞞に満ち、国民と地域経済を置き去りにした安倍政権の暴走を許してはなりません。

「民進党」へのご支援を

夏の参議院議員選挙は一層重要になりました。子どもたちや日本国の未来に対して責任ある社会を築かなければなりません。野党は力を合わせ、安倍政権を倒せという国民の声に従い、民主党と維新の党を中心に新しく「民進党」を結成しました。7月の参議院議員選挙では、電機連合公認候補の「矢田わか子」さんの必勝に向けて、働く仲間の皆さんや議員団の皆さんとともに全力を尽くします。



民進党結成大会にて、矢田氏(右)、浅野氏(左)と

参院選全国比例候補 「矢田わか子」さんの必勝を

29年間の活動へのご支援に感謝申し上げます

日立グループ議員団会長 衆議院議員 大島 章宏



日立市内で79回目となる国政報告会を開催

「民進党」で現政権の暴走を止めよう



日立グループ議員団幹事長 栃木市議会(日立AP労組/栃木支部) 千葉 正弘

参議院選の勝利を

「民進党」が結成されました。新党の名称のみならず新党結成そのものにも批判はあるかも知れませんが、「民進党」の党勢を少しでも拡大し政権交代をめざす新たな基盤が出来たと考え、前へ進むようではありませんか。そして、現政権の暴走をなんとしても止めなければなりません。

「矢田わか子」・「浅野さとし」最後まで力強く支えよう

さて7月の参議院議員選挙に加えて、衆議院の解散総選挙にも備えていかなければなりません。電機連合の公認である大島章宏衆議院議員の後継となる「浅野哲(さとし)氏」が、電機連合の公認候補として機関確認されま

した。この二つの選挙を何があんでも勝利しなければなりません。

参議院議員選挙へのこれまでの取組みに関しましては、「矢田わか子」への支持拡大に種々ご協力を賜り感謝申し上げます。しかし、新人である「矢田わか子」は苦戦を強いられています。最後まで力強く支えていただくことをお願い致します。

議員団の会費見直しを検討中

最後に、2月に開催しました日立グループ議員団全体会議の際に、財政の逼迫から幹事会において会費見直し(増額)の検討をしている旨ご報告させていただき、対応につきましては幹事会にご一任をいただきました。

7月の総会までに具体的な内容をご提示させていただきたく、現在鋭意検討中です。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

当選御礼

東海村議会議員選挙 3期目当選

ご支援ありがとうございました

越智 辰哉 (日立労組日立支部)



第24回参議院議員選挙 電機連合組織内公認候補

衆議院議員 おおはた章宏 後継

両名の当選めざし 全力で取り組もう

矢田わか子

パナソニックグループ労働組合連合会出身

あなたと動けば、未来は変わる。

矢田わか子、3つの「やります!!」

1. 働く 「誰もがイキイキと働ける社会」づくりに挑戦します!
2. 暮らす 「将来にわたって暮らしを支える社会」を実現します!
3. 育てる 「子どもを健やかに育てられる社会」をつくります!

<http://yatawaka.com/>

競争から協創へ。 「ひと」と「地域」が主役の安心・活力社会の実現!

プロフィール
・1982年9月25日生まれ
・(株)日立製作所 日立研究所 研究員
・日立製作所労働組合 研究所支部 執行委員
・衆議院議員 大島章宏 秘書
・日立市在住

facebook: <https://www.facebook.com/satoshi.asano.564>

浅野さとし

3月16日(水)開催の臨時日立労組代表者会議において、大島衆議院議員後継者として浅野哲立候補予定者(日立労組特別中央執行委員)が確認されました。

議員活動レポート

日立グループ議員団所属議員の活動をご紹介します

市政だより

まちづくりの拠点施設へ新庁舎建設事業



伊藤 健也
日立市議会
(日立AP労組多賀支部)

市民生活の安全・ 安心を支え、 賑わいが創出出来るよう 提言していく



建設中の新庁舎

平成27年度に着工した新庁舎建設事業の第一期本体工事も約1年が経過し、現在、建物の骨組みとなる鉄骨が徐々に組み上がってきています。

新庁舎建設特別委員会において、工事の進捗状況の説明を受けるとともに、現場において実際に状況を見ながら順調に進んでいることが確認されています。

このような中において、小学生を含めた市民を対象とした工事現場見学会を開催するなど、積極的に事業の広報活動も行なっています。

新庁舎は、東日本大震災の教訓を踏まえ、免震装置や非常

用自家発電設備の導入、防災センターの常設等、防災機能の強化に重点を置き整備が進められています。

第一期本体工事は平成29年4月に竣工、同年8月に新庁舎としての供用開始が予定されています。

その後、現庁舎の解体工事を進めながら、大屋根や多目的ホール棟の整備である第二期工事等を進め、平成31年の夏頃には全体事業の完了が予定されています。

民主クラブとして、引き続き新庁舎が市民生活の安全・安心を支える中心的な役割を果たしながら、まちづくりの拠点としての賑わいが創出出来るよう提言していきます。

関本小中一貫校が開校

市政だより



次世代を担う 子どもたちを 支援していく



西野 英夫
北茨城市議会
(日立労組日立支部)

4月に開校した関本小中学校

北茨城市立富士ヶ丘小学校及び関本第一小学校と関本中学校が融合し、関本小中学校が今年の4月に開校を迎えました(敷地21,000㎡、鉄筋コンクリート造3階建、延床面積5,580㎡、普通教室10、特別教室8、多目的教室7、総工事費約24億円)。全ての教室は空調設備が完備され、また、「いばらき木つかい運動」を活用し、県内産の木材を多用した柔らかく、温かく感じる校内で勉強するハード環境は十分整いました。

ポイントは、運営方法及び教育方針等のソフト環境です。私が所属する文教厚生委員会では、昨年、水戸市立国田小中学校

を視察し、その教育方針等を勉強してきました。同校は、4・4・1制の教育を実践しています。1-4年生は学びの基礎力の育成、5-8年生は社会的実践力の育成、9年生は国田の教育の集大成、という年代別の教育方針に基づき、子どもたちの指導にあたっています。

関本小中学校も独自の教育方針に基づき開校しましたが、次世代を担う子どもたちが郷土に誇りを持ち、将来の夢を描くことの出来るような、9年間の学校生活が送れるよう、文教厚生委員会及び個人的にも支援していきます。

外野跨線橋開通

市政だより



岩本 尚之
ひたちなか市議会
(日立工機労組)

市民目線で安全と利便性を向上させる



渋滞緩和が期待される外野跨線橋

ひたちなか市は南北にJR常磐線が走り、国道6号線側と市街地が分断されており、これを跨ぐ高場・大島跨線橋では朝夕の通退勤時には慢性的な渋滞が発生しておりました。また最近では、国営ひたち海浜公園他に多くの観光客が訪れるようになり、渋滞はさらに常態化しておりました。これらの対策として、JR常磐線と交

差する区間が未整備であった西中根田彦線に、当該区間を立体交差で整備し、「外野跨線橋」が開通しました(平成21年事業認可、平成24年工事着手、平成28年2月27日(土)開通)。

これにより、高場・大島跨線橋などの渋滞緩和、地域住民の安全確保、国道6号線へのアクセス向上、救急・消防活動の迅速化、渋滞緩和による環境影響への改善が図れると同時に、東西間の移動の円滑化により人々の交流や経済活動が活発になることが期待されます。開通後は、効果を検証するとともに、流れが変わった交通に対しても安全を確保する取組みを行なっていきます。

日新クラブは、今後も市民の目線にたって、安全と利便性を向上させる諸施策に取組み、「安心、安全で暮らしたくなるひたちなか市」をめざしていきます。

市政だより

待機児童対策への取組み

働く者の立場で政策提言していく



昭和45年8月に開園し、昭和54年に増築、平成27年に建替した川南保育園



牧野 一吉
尾張旭市議会
(日立労組旭支部)

「保育園落ちた日本死ね」少し過激にも感じますが、国政でも議論の渦中にあります。共働きや一人親世帯の増加など、社会的要因により保育園の需要が高まる中、多くの自治体が抱える課題です。尾張旭市でも保育園の新設や増築、建替、再開などで定員増対策を進め、甲斐あって数年前には一瞬待機児童ゼロを達成しましたが、今は多くの自治体と変わりません。市単独での対応には限界があるものの、当市では今後に向けて以下の取組みを進めます。

保育園の待機児童対策では、市内で初めてとなる小規模保育事業所を2カ所開設することが決まっています。また既存保育園のハード・ソフト両面で環境整備を行ない待機の多い2歳児定員を拡充、合わせて3歳未満児の定員拡充を図っていきます。放課後児童クラブの待機児童対策は、設置場所を児童館内から小学校の

利用可能な教室に移設して定員を拡充したり、これまで計画的に進めてきた開設時間の延長についても、民間の運営に移行し午後7時までとしていきます。これらは一部ですが、待機児童の根本政策は国を巻き込み検討すべき課題であり、働く者の立場から今後も政策提言していきます。

『若者政策ワールドカフェ』を定期開催

市政だより



三神 尊志
さいたま市議会
(日立労組本社支部)

第2回若者政策ワールドカフェの参加者



若者の主権者教育の充実と 政治参画機会の拡大を

さいたま市では、行政、議会ともに主権者教育の充実と政治参画機会拡大の取組みを行なっています。行政においては、選挙管理委員長と高校生の意見交換会を開催しました。また、参議院議員選挙の際、模擬選挙を実施するよう市立高校全4校に情報提供を行なうとの方針が教育委員会より示されました。前回総選挙の際に市立高校1校で模擬選挙を実施し、効果が確認されたことを踏まえたものです。市議会では、若者との意見交換を行なう場を設けることを、議長を中心に検討しています。

民主改革さいたま市議団では、若者を対象としたワーク

ショップ『若者政策ワールドカフェ』を定期開催しています。今回はテーマを「18歳選挙権実現」「若者にとっての商店街」とし、様々な提案を若者からいただきました。提案は、会派政策として実現に取り組んでいます。

私が定期的に受け入れている高校生インターンには、会派所属議員の協力をいただきながら『模擬議会』プログラム(高校生が議員役、議員が行政執行部役を務める)を実施しています。高校生議員は、実際の予算議案に対して厳しい追及を行ない、高校生の視点からの独創的な政策提案を行なうなど、大変意義あるプログラムとなっています。

今後、若者の主権者教育充実と、政治参画の機会拡大はますます重要となるテーマであると認識し、取組みを進める所存です。